第23回　中学生の主張大会

伊藤学園

12月９日(土)、第23回品川区中学生の主張大会がスクエア荏原にて開催されました。伊藤学園からは、８年生の松山こもかさんが参加しました。

松山さんは「選択をしている人の数だけ」という題で、自らの主張を発表しました。内容としては、私たちが普段行っている行動や環境問題などの社会事象の背景には、必ず「選択すること」が絡んでいるというものです。選択次第で、私たちの行動の結果や社会事象の顛末(てんまつ)がいかようにも変わってしまうので、私たちが自分の選択をよく吟味することで、良い方向へ社会を変えていけるだろうという結びで終わります。

松山さんは、「本番はとても緊張しましたが、自分の考えはしっかり主張できました。本番までの練習量が大切なので、来年度挑戦する人には、とにかくよく練習してほしいです。また自分の主張を聴いてくれた人が、普段無意識に行っている選択を、意識してできるようにしてもらえたらうれしいです。」と感想を述べてくれました。

他校の参加者も気持ちのこもった主張を展開し、二時間ほどの時間があっという間に感じられたほどでした。中学生という多感な時期に、これだけ広い視野で、自分の考えを切実に主張することができた参加者全員に、頼もしさを感じた年の瀬となりました。　（伊藤学園教諭　西野敏夫　記）

冨士見台中学校

12月９日(土)に第23回中学生の主張大会がスクエア荏原ひらつかホールにて行われました。各学校で選抜された１名が思い思いの題材で自分の主張を述べていました。本校の代表である倉田妃菜子さんは『動物を守る責任』と題して、今地球上で動物が減ってしまっているということを出発点として、動物を大切にすることの重要性、また動物と共存していくために必要な我々の心がけについて主張をしました。

今年度の発表は、どの学校の代表生徒も、日常生活における身近な問題や出来事を、自分ごととして捉えて主張をする生徒が多かったように感じます。例えば、防災意識の在り方や、自分の趣味や夢、家族のことなどが話題に上がりました。それだけ発表者のみなさんが、日々の生活を大切に丁寧に過ごしているということが言えるでしょう。常にアンテナを張りながら生活することができているのは素晴らしいと感じました。また、相手の立場に立って、より説得力のある主張にするために、論理の展開を工夫したり、語彙(ごい)を選んだりし、推敲(すいこう)を重ねたであろうことが伝わってきました。その結果、それぞれが伝えたいことを真っ直ぐに聞き手に届けることができていたと思います。どの主張も大変主体的で、心に残るものでした。

（冨士見台中学校教諭　干場依恵　記）

年末年始の夜間パトロール　～大井庚塚町会～

チョン・チョン・・チョチョン「火の用～心」12月26日～30日、１月４・５日の年末・年始の夜警、協力者は総延べ人数119名でした。その中に子ども延べ11名が参加してくれました。大井庚塚町会の年末・年始の夜警は、町会の歴史と共に行われてきましたが、当初は消防団が夜警を行い、町民から夜警費を集めて実施していました。大井庚塚町会は大井消防団第三分団に所属し、一時はその中心を担っていました。やがて町会の消防団員が減少し始め、夜警は町会の役員とボランティアで運営されるようになり、その頃から子どもも参加するようになりました。現在、多くのボランティアにより夜警を継続している町会は少なくなっています。

火事が多く発生し、そして詐欺事件も多く発生しています。年末年始の忙しくそしてウキウキした空気が心に隙間を作りますね。夜警はその心に緊張感をもたらすものかもしれません。「こんばんは」「ご苦労さまです」すれ違う皆さんとの挨拶、時には「うるさい」も。この連帯感が夜警の効果かなと思います。そして大井警察と防犯協会による激励がありました。

夜警は地域の行政とも連携しています。町内が安心・安全に過ごせるように、これからも大井庚塚町会として年末・年始の夜警は続けて行こうと思っています。

（大井庚塚町会会長　室伏裕一　記）

ラジオ体操で健康保持

西大井3丁目防災活動広場にて、年間をとおし、出石町会内有志で行っています。放送開始10分前、担当者がラジオを中央の椅子の上にセット。予定時刻になると、あの音楽とアナウンサーの声が流れる。「北は北海道から南は沖縄までの全国放送」放送会場は、毎日変わる。私たちの会場の参加者は、平均22名。最高23名、最低５名。不思議にも参加者の立ち位置は、ほぼ決まっている。北側から時計回りに仲良し女性３人組。町会役員、元町会長、何と隣大田区山王から来られる方等。公園西路地に女性、南路地に人材センターの方。男性、女性の割合は半分。第一体操後、首の運動、そして第二体操。終了後にそれぞれ「寒いですねえ」「ボーリング大会参加しますか?」「最近〇〇ワンちゃん見ませんね」とか二言三言会話して帰宅。中には正月から「私、皆勤ですよ」という人も。

結局、健康を目的に参加されるが、私はちょっとした会話、ことばを変えればコミュニケーションを求めての参加に思える。私自身がそうであるから。会えば安心し、元気になる。私は親しい仲間と近くのコンビニでコーヒータイム。外で配達箱を囲み、雑談に興じる。これが私のルーティーン。一日の出発!!　（杉川　記）

しなQ

区制70周年記念事業の取り組みとして制作された「品川音頭2017」を歌唱しているのは、次のうち誰でしょう？

①岩本公水　　②都はるみ　　③さくらまや

正解は次号で！　（事務局　記）

編集　大井鹿島町会・大井庚塚町会・出石町会・西大井二丁目町会・西大井四丁目町会・西大井五丁目伊藤町会
西大井六丁目町会・大井第一小学校ＰＴＡ・伊藤学園ＰＴＡ・伊藤小学校ＰＴＡ・冨士見台中学校ＰＴＡ

＊品川区のホームページでカラー版と既刊がご覧いただけます。